

平成 23 年度

租税及び印紙収入予算の説明

(第 177 回国会)

(未定稿)

平成 23 年 1 月

財務省主税局

この説明及び付表は、国会における予算審議の便に供するため早急に作成したので、計数その他の点に正誤を要する場合もあることを了承されたい。

なお、計数については、原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

目 次

	頁
第 1 総 説	1
1 平成 23 年度租税及び印紙収入予算の規模	1
2 見積りの大要	2
第 2 平成 23 年度租税及び印紙収入予算額	3
第 3 各税の見積り方法	4
一 般 会 計	
1 所 得 税	4
(1) 源泉所得税	4
(2) 申告所得税	6
2 法 人 税	8
3 相 続 税	10
4 消 費 税	12
5 酒 税	13
6 た ば こ 税	13
7 揮 発 油 税	14
8 石 油 ガ ス 税	14
9 航 空 機 燃 料 税	14
10 石 油 石 炭 税	15
11 電 源 開 発 促 進 税	15
12 自 動 車 重 量 税	15
13 関 税	16
14 と ん 税	16
15 印 紙 収 入	17

交付税及び譲与税配付金特別会計

16	地方揮発油税	18
17	石油ガス税(譲与分)	18
18	航空機燃料税(譲与分)	18
19	自動車重量税(譲与分)	19
20	特別とん税	19
21	地方法人特別税	19

国債整理基金特別会計

22	たばこ特別税	19
----	--------	----

第4 付 表

1	平成23年度一般会計歳入予算額	20
2	国民所得に対する租税負担率	21
3	直接税及び間接税等の比率	22
4	主要経済指標の見通し	23

[参考資料]

1	租税及び印紙収入(一般会計分)決算額の推移	24
2	所得税納税人員の推移	25
3	基準割引率および基準貸付利率の推移	26
4	法人数の状況	27
5	企業収益の予測状況	28
6	相続税・贈与税の納税人員等の推移	29

第 1 総 説

1 平成 23 年度租税及び印紙収入予算の規模

平成 23 年度一般会計租税及び印紙収入予算額は	409,270 億円
で、これは平成 22 年度当初予算額に対しては	35,310 "
の増加、平成 22 年度補正後予算額に対しては	12,840 "
の増加である。また、これに特別会計分を加えた	
平成 23 年度租税及び印紙収入予算額の合計額は	432,309 "
である。	

A 一 般 会 計

(1) 平成 22 年度当初予算額	373,960 億円
(2) 平成 22 年度補正後予算額	396,430 "
(3) 平成 23 年度予算額	
① 税制改正前収入見込額	412,130 "
増減額 { 対 22 年度当初予算額	38,170 "
{ 対 22 年度補正後予算額	15,700 "
② 税制改正による増減収見込額	△ 2,860 "
内 訳 { (イ) 法人課税	△ 4,280 "
{ (ロ) 個人所得課税	360 "
{ (ハ) 資産課税	880 "
{ (ニ) 消費課税	90 "
{ (ホ) 納税環境の整備等	△ 110 "
{ (内国税計)	△ 3,060 ")
{ (ヘ) 関税	200 "
③ 合計平成 23 年度予算額 (①+②)	409,270 "
増減額 { 対 22 年度当初予算額	35,310 "
{ 対 22 年度補正後予算額	12,840 "
B 特 別 会 計	
(1) 交付税及び譲与税配付金特別会計分	21,777 "
(2) 国債整理基金特別会計分	1,262 "
計	23,039 "
C 合 計 (A + B)	432,309 "

(注) 一般会計の計数については、原則として 10 億円未満四捨五入によっている。

2 見積りの大要

前記の平成 23 年度租税及び印紙収入予算額は、税目ごとに、平成 23 年度政府経済見通しによる経済諸指標、最近までの課税実績、収入状況等を勘案して見積ったものである。

平成 22 年度の我が国経済は、同年秋から足踏み状態にあるが、今後は踊り場を脱する動きが進むと見込まれる。

平成 23 年度は、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、予算、税制等による「新成長戦略」（平成 22 年 6 月 18 日閣議決定）の本格実施等を通じて、雇用・所得環境の改善が民間需要に波及する動きが徐々に強まることから、景気は持ち直し、経済成長の好循環に向けた動きが進むことが見込まれる。

主な税目の見積りの大要を説明すると、次のとおりである。

(1) 源泉所得税

給与所得については、雇用者報酬の伸び、前年度以前の改正の平年度化による影響等を勘案し、平成 22 年度に対する平成 23 年度税額の割合を 106%程度と見込んで算定した。その他の源泉徴収に係る所得は最近における課税実績等を勘案して算定した。

(2) 申告所得税

事業所得については、前年度以前の改正の平年度化による影響等を勘案し、平成 22 年度に対する平成 23 年度税額の割合を 104%程度と見込んで算定した。その他の申告所得については、源泉所得税の動向、最近における課税実績等を勘案して算定した。

(3) 法人税

生産、物価、輸出、消費の動向等を勘案し、平成 22 年度に対する平成 23 年度年税額の割合を 102%程度と見込んで算定した。

(4) 相続税

最近における課税財産価額の推移等を勘案して算定した。

(5) 消費税

消費の動向等を勘案し、平成 22 年度に対する平成 23 年度年税額の割合を 101%程度と見込んで算定した。

(6) 酒税

最近における課税実績等を勘案して算定した。

(7) その他の諸税及び印紙収入

最近における課税実績、輸入見込等を勘案して算定した。

第 2 平成 23 年度租税及び印紙収入予算額

(単位 億円)

税 目	平成 22 年 度		平成 23 年 度						
	当 予 算 額	補 正 後 予 算 額	前年度予算額に対する 現行法による増減 (△)収見込額		現行法に よる収入 見込額	税制改正 による増 減(△)収見 込額	改正法に よる収入 見込額 (予算額)	前年度予算額に対する 増減(△)収見込額	
			対 当 初	対 補 正 後				対 当 初	対 補 正 後
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)= (1)+(3) (2)+(4)	(6)	(7)= (5)+(6)	(8)= (7)-(1)	(9)= (7)-(2)	
(一 般 会 計)									
所得税									
源泉分	101,540	104,910	9,900	6,530	111,440	280	111,720	10,180	6,810
申告分	24,600	23,170	△ 1,390	40	23,210	△ 30	23,180	△ 1,420	10
計	126,140	128,080	8,510	6,570	134,650	250	134,900	8,760	6,820
法人税	59,530	74,890	22,680	7,320	82,210	△ 4,290	77,920	18,390	3,030
相続税	12,710	12,710	660	660	13,370	860	14,230	1,520	1,520
消費税	96,380	101,550	5,610	440	101,990	—	101,990	5,610	440
酒税	13,830	13,830	△ 350	△ 350	13,480	—	13,480	△ 350	△ 350
たばこ税	8,270	8,270	△ 110	△ 110	8,160	—	8,160	△ 110	△ 110
揮発油税	25,760	25,760	580	580	26,340	—	26,340	580	580
石油ガス税	120	120	—	—	120	—	120	—	—
航空機燃料税	770	770	△ 50	△ 50	720	△ 260	460	△ 310	△ 310
石油石炭税	4,800	4,800	△ 40	△ 40	4,760	360	5,120	320	320
電源開発促進税	3,300	3,300	160	160	3,460	—	3,460	160	160
自動車重量税	4,470	4,470	△ 190	△ 190	4,280	—	4,280	△ 190	△ 190
関税	7,560	7,560	390	390	7,950	200	8,150	590	590
とん税	80	80	10	10	90	—	90	10	10
印紙収入									
収入印紙	7,480	7,480	70	70	7,550	20	7,570	90	90
現金収入	2,760	2,760	240	240	3,000	—	3,000	240	240
計	10,240	10,240	310	310	10,550	20	10,570	330	330
合 計	373,960	396,430	38,170	15,700	412,130	△ 2,860	409,270	35,310	12,840
(交付税及び譲与税配 付金特別会計)									
地方揮発油税	2,756	2,756	62	62	2,818	—	2,818	62	62
石油ガス税(譲与分)	120	120	—	—	120	—	120	—	—
航空機燃料税(譲与分)	140	140	△ 9	△ 9	131	—	131	△ 9	△ 9
自動車重量税(譲与分)	3,065	3,065	△ 127	△ 127	2,938	—	2,938	△ 127	△ 127
特別とん税	100	100	13	13	113	—	113	13	13
地方法人特別税	12,900	12,900	2,642	2,642	15,542	115	15,657	2,757	2,757
合 計	19,081	19,081	2,581	2,581	21,662	115	21,777	2,696	2,696
(国債整理基金特別会計)									
たばこ特別税	1,582	1,582	△ 320	△ 320	1,262	—	1,262	△ 320	△ 320
総 計	394,623	417,093	40,431	17,961	435,054	△ 2,745	432,309	37,686	15,216

第3 各税の見積り方法

一 般 会 計

1 所 得 税

現行法による収入見込額	134,650 億円
税制改正による増	250 "
合計予算額	134,900 "

(1) 源泉所得税

現行法による収入見込額	111,440 億円
税制改正による増	280 "
合計予算額	111,720 "

A 給与所得に対する源泉所得税

平成22年度の実績見込を基礎とし、平成23年度政府経済見通しによる雇用者報酬の伸び、前年度以前の改正の平年度化による影響額等を勘案して、平成22年度に対する平成23年度税額の割合を

106 %程度

と見込み

本年度収入見込額を	90,710 億円
とし、これに	
繰越滞納分の本年度収入見込額	420 "
を加え	
給与所得に対する本年度収入見込額を	91,130 "
とした。	

なお、本年度分課税見込額に係る納税人員等は以下のとおりである。

納 税 人 員	4,370 万人
給 与 総 額	2,035,130 億円 (1人当466万円)
給 与 所 得 控 除 額	594,660 億円
基 礎 控 除 額	166,070 "
配 偶 者 控 除 額	40,330 " (有配偶者割合24%)
配 偶 者 特 別 控 除 額	2,100 億円

扶 養 控 除 額	50,110 億円
	(平均扶養人員 0.2 人)
社会保険料控除、生 命保険料控除、障害 者控除等の額	250,340 億円
控 除 額 計	1,103,610 "
課 税 所 得 見 込 額	931,520 "
	(1人当 213 万円)
B 利子所得に対する源泉所得税	
最近における課税実績等を勘案して	
利子所得に対する本年度収入見込額を	5,420 億円
とした。	
C 配当所得等に対する源泉所得税	
最近における課税実績等を勘案して、本年度収入見込額を	
配当所得に対する税額	15,870 "
退職所得に対する税額	1,850 "
非居住者の所得に対する税額	2,820 "
特定口座内保管上場株式等の譲渡所得等に対する税額	490 "
社会保険診療報酬、外交員報酬、原稿料等に対する税額	11,690 "
計	32,720 "
とした。	
D 合 計 (A + B + C)	129,270 "
から	
還付見込税額	△ 17,830 "
を差し引き	
現行法による平成 23 年度収入見込額を	111,440 "
とし、これに	
税制改正による増収見込額	280 "
を加え	
平成 23 年度予算額を	111,720 億円
とした。	

- (参考) 1 最近の給与所得者の納税人員の推移については、参考資料 2 参照。
2 最近の金利水準の推移については、参考資料 3 参照。

(2) 申告所得税

現行法による収入見込額		23,210 億円
税制改正による減	△	30 "
差引予算額		23,180 "

A 平成 23 年分所得に対する申告所得税

平成 22 年の課税見込を基礎とし、前年度以前の改正の平年度化による影響額等を勘案して、平成 22 年度に対する平成 23 年度税額の割合を、所得者別に

事業	その他	計
104%	102%	102%

程度と見込み

本年度分課税見込額を 22,220 億円
と見込み、予定納税分を調整し、収入歩合を 99%程度として

本年度収入見込額を 22,840 "
とした。

なお、本年度分課税見込額に係る納税人員等は以下のとおりである。

	事業	その他	計
納税人員	万人 144	585	729
合計所得金額	億円 51,330	296,720	348,050
(1人当)	万円 (357)	(508)	(478)
基礎控除額	億円 5,470	22,210	27,680
配偶者控除額	億円 1,020	8,700	9,720
配偶者特別控除額	億円 80	420	500
扶養控除額	億円 2,530	5,250	7,780
(平均扶養人員)	人 (0.4)	(0.2)	(0.2)
社会保険料控除、生命保険料控除、障害者控除等の額	億円 7,930	32,330	40,260
控除額計	億円 17,030	68,910	85,940
差引課税所得金額	億円 34,300	227,810	262,110
(1人当)	万円 (238)	(390)	(360)
算出税額	億円 6,470	38,970	45,440
配当控除、住宅ローン控除等の税額控除の額	億円 130	590	720

	事 業	そ の 他	計
差 引 税 額	6,340 ^{億円}	38,380	44,720
(1 人 当)	(44.1) ^{万円}	(65.6)	(61.4)
源 泉 徴 収 税 額	1,920 ^{億円}	20,580	22,500
再 差 引 税 額	4,420 ^{億円}	17,800	22,220
B 過年所得分			
本年度収入見込額を とした。			1,450 ^{億円}
C 繰越滞納分			
本年度収入見込額を とした。			650 "
D 合 計 (A + B + C)			24,940 "
から			
還付見込税額		△	1,730 "
を差し引き			
現行法による平成 23 年度収入見込額を とし、これから			23,210 "
税制改正による減収見込額		△	30 "
を差し引き			
平成 23 年度予算額を とした。			23,180 ^{億円}

(備考) 「その他」の再差引税額 17,800 億円の内訳は次のとおりである。

- 1 土地等の譲渡所得に係る税額 2,880 億円
- 2 株式等の譲渡所得等に係る税額 1,110 "
- 3 上記以外の所得に係る税額 13,810 "

(参考) 最近の各所得者別の納税人員の推移については、参考資料 2 参照。

2 法人税

現行法による収入見込額		82,210 億円
税制改正による減	△	4,290 "
差引予算額		77,920 "

A 申告分

平成 22 年度年税額（平成 22 年 4 月から 23 年 3 月までに事業年度の終了する法人の年税額）の実績見込を基礎とし

平成 23 年度政府経済見通しによる鉱工業生産、国内企業物価、財貨・サービスの輸出及び民間最終消費支出の伸びを基礎に、各決算期の所得の発生期間、年税額の月別割合等を勘案し、平成 22 年度に対する平成 23 年度年税額（平成 23 年 4 月から 24 年 3 月までに事業年度の終了する法人の年税額）の割合を

102 %程度

と見込み

平成 23 年度の年税額を 87,110 億円とし、これに、平成 23 年 4 月から同年 9 月までに事業年度の終了する 1 年決算法人に係る中間申告分等を調整し

平成 23 年度申告見込税額を 92,080 "

とし、これに

前年度改正の平年度化による増収見込額 80 "

を加え

平成 23 年度実際申告見込税額を 92,160 "

とし、これに

前年度よりの期限内納付見込額 340 "

を加え

翌年度への期限内納付見込額 △ 340 "

を差し引いた額 92,160 "

のうち、収入歩合を 99%程度として

本年度収入見込額を 91,410 "

とした。

(注) 平成 22 年度に対する平成 23 年度年税額の割合の算定に当たって用いた計数は以下のとおりである。

生	産	103 %程度
物	価	100 "
輸	出	106 "
消	費	100 "

生産、物価、輸出及び消費の合算	102 %程度
B 更正決定分	
最近における更正決定の実績を勘案して	
更正決定による本年度収入見込額を	1,660 億円
とした。	
C 繰越滞納分	
本年度収入見込額を	690 "
とした。	
D 合計 (A + B + C)	93,760 "
から	
還付見込税額	△ 11,550 "
を差し引き	
現行法による平成 23 年度収入見込額を	82,210 "
とし、これから	
税制改正による減収見込額	△ 4,290 "
を差し引き	
平成 23 年度予算額を	77,920 億円
とした。	

- (参考) 1 最近の法人数の状況については、参考資料 4 参照。
2 最近の企業収益の動向については、参考資料 5 参照。

3 相 続 税

現行法による収入見込額	13,370 億円
税制改正による増	860 "
合計予算額	14,230 "

平成 22 年度の実績見込を基礎とし、平成 22 年度に対する平成 23 年度の相続税及び贈与税に係る税額の割合を

相 続 税	贈 与 税	計
97 %	100 %	97 %

程度と見込み

本年度収入見込額を

相 続 税	贈 与 税	計
12,590 億円	1,140 億円	13,730 億円

とし、これから

還付見込税額 △ 360 "

を差し引き

現行法による平成 23 年度収入見込額を 13,370 "

とし、これに

税制改正による増収見込額 860 "

を加え

平成 23 年度予算額を 14,230 億円

とした。

なお、現行法による平成 23 年中の相続・贈与に係る納税人員等は以下のとおりである。

相 続 税 課 税 件 数	49 千件
納 税 人 員	122 千人
課 税 財 産 価 額	101,480 億円 (1 件当 20,753 万円)
遺産に係る基礎控除額	39,940 "
差 引 課 税 価 額	61,540 " (1 件当 12,585 万円)
算 出 税 額	16,920 " (1 件当 3,460 万円 1 人当 1,385 万円 平均税率 27 %)
贈 与 税 納 税 人 員	229 千人
課 税 財 産 価 額	18,400 億円 (1 人当 802 万円)
基礎控除及び配偶者控除並びに相続時精算課税に係る特別控除の額	13,990 "

差引課税価額	4,410 億円	(1人当 192 万円)
算出税額	1,020 "	(1人当 44 万円) 平均税率 23 %
合計算出税額	17,940 "	
配偶者軽減見込額、未成年者控除見込額等	△ 5,690 "	
平成 24 年度へ繰り越される相続に係る課税見込額	△ 4,700 "	
平成 22 年度以前分の平成 23 年度課税見込額	7,440 "	
物納見込額	△ 650 "	
延納見込額	△ 980 "	
延納分の本年度徴収決定見込額	980 "	
合計徴収決定見込額	14,340 "	

(参考) 最近の相続税の課税件数及び納税人員並びに贈与税の納税人員の推移については、
参考資料 6 参照。

4 消 費 税

予 算 額 101,990 億円

平成 22 年度年税額（平成 22 年 4 月から 23 年 3 月までに課税期間の終了する事業者の年税額及び同期間の輸入に係る税額）の実績見込を基礎とし

平成 23 年度政府経済見通しによる民間最終消費支出、民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成並びに財貨・サービスの輸出及び輸入の伸びを基礎に、各課税期間、年税額の月別割合等を勘案し、平成 22 年度に対する平成 23 年度年税額（平成 23 年 4 月から 24 年 3 月までに課税期間の終了する事業者の年税額及び同期間の輸入に係る税額）の割合を

101 %程度

と見込み

平成 23 年度の確定申告で納税申告を行う事業者に係る年税額の総額を	96,640 億円
と、平成 23 年度の輸入に係る税額を	26,260 "
とし、これらに、平成 23 年 4 月から 24 年 1 月までに課税期間の終了する 1 年決算法人に係る中間申告分等を調整した	
平成 23 年度納税申告等見込額	128,670 "
のうち、収入歩合を 98%程度として	
本年度収入見込額を	126,460 "
とし、これから	
還付見込税額	△ 26,490 "
を差し引き	
繰越滞納分の本年度収入見込額	2,020 "
を加え	
平成 23 年度予算額を	101,990 億円
とした。	

5 酒 税

予 算 額 13,480 億円

最近における課税実績等を勘案して
平成 23 年度の課税見込を

	数 量	税 額
清 酒	558 千 kl	640 億円
し ょ う ち ゅ う	907 "	2,160 "
ビ ー ル	2,757 "	6,050 "
ウ イ ス キ ー 等	111 "	420 "
そ の 他	4,596 "	4,210 "
合 計	8,929 "	13,480 "

とし

平成 23 年度予算額を
とした。 13,480 億円

6 た ば こ 税

予 算 額 8,160 億円

最近における課税実績等を勘案して
平成 23 年度の課税見込を

数 量	税 額
1,563 億本	8,160 億円

とし

平成 23 年度予算額を
とした。 8,160 億円

7 揮 発 油 税

	予 算 額	26,340 億円
最近における課税実績等を勘案して 平成 23 年度の課税見込を		
	数 量	税 額
	54,192 千 <i>kl</i>	26,340 億円
とし		
	平成 23 年度予算額を	26,340 億円
とした。		

8 石 油 ガ ス 税

	予 算 額	120 億円
最近における課税実績等を勘案して 平成 23 年度の課税見込を		
	数 量	税 額
	1,335 千 t	240 億円
とし、このうち		
	一般会計分収入（同上の 2 分の 1）	120 億円
を平成 23 年度予算額とした。		

9 航 空 機 燃 料 税

	現行法による収入見込額	720 億円
	税制改正による減	△ 260 "
	差 引 予 算 額	460 "
最近における課税実績等を勘案して 平成 23 年度の課税見込を		
	数 量	税 額
	3,643 千 <i>kl</i>	851 億円
とし、このうち		
	現行法による平成 23 年度一般会計分収入見込額（同上の 13 分の 11）を	720 "
とし、これから		
	税制改正による減収見込額	△ 260 "
を差し引き		
	平成 23 年度予算額を	460 億円
とした。		

10 石油石炭税

現行法による収入見込額	4,760 億円
税制改正による増	360 "
合計予算額	5,120 "

最近における課税実績等を勘案して

平成 23 年度の課税見込を

	数 量	税 額
原 油	177,938 千 kl	3,630 億円
そ の 他	—	1,750 "
合 計	—	5,380 "

とし、これから

還付見込税額 △ 620 "

を差し引き

現行法による平成 23 年度収入見込額を 4,760 "

とし、これに

税制改正による増収見込額 360 "

を加え

平成 23 年度予算額を 5,120 億円

とした。

11 電源開発促進税

予 算 額 3,460 億円

最近における課税実績等を勘案して 3,460 億円

を平成 23 年度予算額とした。

12 自動車重量税

予 算 額 4,280 億円

最近における課税実績等を勘案して

平成 23 年度収入見込額を 7,218 億円

とし、このうち

一般会計分収入（同上の 1,000 分の 593） 4,280 億円

を平成 23 年度予算額とした。

13 関 税

現行法による収入見込額	7,950 億円
税制改正による増	200 "
合 計 予 算 額	8,150 "

最近における課税実績、輸入見込等を勘案して

現行法による平成 23 年度収入見込額を

食 料 品	3,890 億円
原 料 品	190 "
加 工 製 品	3,870 "
合 計	7,950 "

とし、これに

税制改正による増収見込額	200 "
--------------	-------

を加え

平成 23 年度予算額を	8,150 億円
--------------	----------

とした。

14 と ん 税

予 算 額	90 億円
-------	-------

最近における収入状況等を勘案して

90 億円

を平成 23 年度予算額とした。

15 印 紙 収 入

現行法による収入見込額	10,550 億円
税制改正による増	20 "
合 計 予 算 額	10,570 "

最近における収入状況、売りさばき状況等を勘案して

現行法による平成 23 年度収入見込額を

収 入 印 紙	7,550 億円
現 金 収 入	3,000 "
合 計	10,550 "

とし、これに

税制改正による増収見込額	20 "
--------------	------

を加え

平成 23 年度予算額を

収 入 印 紙	7,570 億円
現 金 収 入	3,000 "
合 計	10,570 "

とした。

交付税及び譲与税配付金特別会計

16 地方揮発油税

	予 算 額	2,818 億円
最近における課税実績等を勘案して		
平成 23 年度の課税見込を		
	数 量	税 額
	54,192 千ℓ	2,818 億円
とし		
平成 23 年度予算額を		2,818 億円
とした。		

17 石油ガス税（譲与分）

	予 算 額	120 億円
石油ガス税において見込んだ収入見込額		
のうち		
石油ガス税（譲与分）収入（同上の 2 分の 1）		120 億円
を平成 23 年度予算額とした。		

18 航空機燃料税（譲与分）

	予 算 額	131 億円
航空機燃料税において見込んだ収入見込額		
のうち		
航空機燃料税（譲与分）収入（同上の 13 分の 2）		131 億円
を平成 23 年度予算額とした。		

19 自動車重量税（譲与分）

	予 算 額	2,938 億円
自動車重量税において見込んだ収入見込額		7,218 億円
のうち		
自動車重量税（譲与分）収入（同上の 1,000 分の 407）		2,938 億円
を平成 23 年度予算額とした。		

20 特別とん税

	予 算 額	113 億円
最近における収入状況等を勘案して		113 億円
を平成 23 年度予算額とした。		

21 地方法人特別税

	予 算 額	15,657 億円
最近における課税実績等を勘案して		15,657 億円
を平成 23 年度予算額とした。		

国債整理基金特別会計

22 たばこ特別税

	予 算 額	1,262 億円
最近における課税実績等を勘案して		
平成 23 年度の課税見込を		
	数 量	税 額
	1,563 億本	1,262 億円
とし		
平成 23 年度予算額を		1,262 億円
とした。		

第 4 付 表

1 平成 23 年度一般会計歳入予算額

(単位 億円)

区 分	平成 23 年度 予 算 額	平成 22 年度		対前年度増減 (△) 額	
		当 初 予 算 額	補正後予算額	対 当 初	対 補 正 後
租 税 及 び 印 紙 収 入	409,270	373,960	396,430	35,310	12,840
官業益金及び官業収入	157	159	159	△ 2	△ 2
政府資産整理収入	2,970	8,263	8,092	△ 5,292	△ 5,122
雑 収 入	68,739	97,580	97,568	△ 28,842	△ 28,830
公 債 金	442,980	443,030	443,030	△ 50	△ 50
前年度剰余金受入	—	—	22,005	—	△ 22,005
合 計	924,116	922,992	967,284	1,124	△ 43,168

2 国民所得に対する租税負担率

年 度	国民所得	租 税 負 担 額			負 担 率	
		国 税	地 方 税	計	国 税	計
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
昭和 9 ～ 11 年度	14,372	1,226	629	1,855	8.5	12.9
	億円	億円	億円	億円		
24	27,373	6,361	1,424	7,785	23.2	28.4
25	33,815	5,702	1,883	7,585	16.9	22.4
30	69,733	9,363	3,815	13,178	13.4	18.9
35	134,967	18,010	7,442	25,452	13.3	18.9
40	268,270	32,785	15,494	48,279	12.2	18.0
45	610,297	77,732	37,507	115,239	12.7	18.9
50	1,239,907	145,043	81,548	226,591	11.7	18.3
55	2,038,787	283,688	158,938	442,626	13.9	21.7
60	2,605,599	391,502	233,165	624,667	15.0	24.0
61	2,679,415	428,510	246,282	674,792	16.0	25.2
62	2,810,998	478,068	272,040	750,108	17.0	26.7
63	3,027,101	521,938	301,169	823,107	17.2	27.2
平成 元	3,208,020	571,361	317,951	889,312	17.8	27.7
2	3,468,929	627,798	334,504	962,302	18.1	27.7
3	3,689,316	632,110	350,727	982,837	17.1	26.6
4	3,660,073	573,964	345,683	919,647	15.7	25.1
5	3,653,760	571,142	335,913	907,055	15.6	24.8
6	3,700,110	540,007	325,391	865,398	14.6	23.4
7	3,689,366	549,630	336,750	886,380	14.9	24.0
8	3,801,609	552,261	350,937	903,198	14.5	23.8
9	3,822,945	556,007	361,555	917,562	14.5	24.0
10	3,689,757	511,977	359,222	871,199	13.9	23.6
11	3,643,409	492,139	350,261	842,400	13.5	23.1
12	3,718,039	527,209	355,464	882,673	14.2	23.7
13	3,613,335	499,684	355,488	855,172	13.8	23.7
14	3,557,610	458,442	333,785	792,227	12.9	22.3
15	3,580,792	453,694	326,657	780,351	12.7	21.8
16	3,638,976	481,029	335,388	816,417	13.2	22.4
17	3,658,783	522,905	348,044	870,949	14.3	23.8
18	3,752,258	541,169	365,062	906,231	14.4	24.2
19	3,787,290	526,558	402,668	929,226	13.9	24.5
20	3,518,834	458,309	395,585	853,894	13.0	24.3
21	3,392,234	402,433	351,829	754,262	11.9	22.2
22 補正後	3,455,000	417,093	339,579	756,672	12.1	21.9
23 予 算	3,511,000	432,309	339,085	771,394	12.3	22.0
23 予 算	3,511,000	416,652	354,726	771,378	11.9	22.0

- (備考) 1 国民所得は、昭和 25 年度以前は「国民経済計算 (53SNA)」、昭和 30 年度から昭和 50 年度までは「国民経済計算 (68SNA)」及び昭和 55 年度から平成 21 年度までは「国民経済計算 (93SNA)」による実績額であり、平成 22 年度及び平成 23 年度は「平成 23 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」(平成 23 年 1 月 24 日閣議決定)における「主要経済指標」の実績見込み及び見通しである。
- 2 国税は、特別会計分及び日本専売公社納付金を含み、平成 21 年度までは決算額、22 年度は補正後予算額、23 年度は予算額によった。
- 3 地方税は、平成 21 年度までは決算額、22 年度及び 23 年度は見込額である。
- 4 国税から地方法人特別税を除き、地方税に地方法人特別譲与税を含めた場合の平成 23 年度の計数は、以下のとおりである。

3 直接税及び間接税等の比率

年 度	総 額	比 率	直 接 税	比 率	間接税等	比 率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
昭和9～11年度	1,226	100	427	34.8	799	65.2
	億円		億円		億円	
24	6,361	100	3,444	54.1	2,917	45.9
25	5,702	100	3,136	55.0	2,566	45.0
30	9,363	100	4,811	51.4	4,552	48.6
35	18,010	100	9,784	54.3	8,226	45.7
40	32,785	100	19,416	59.2	13,369	40.8
45	77,732	100	51,344	66.1	26,388	33.9
50	145,043	100	100,583	69.3	44,460	30.7
55	283,688	100	201,628	71.1	82,060	28.9
60	391,502	100	285,170	72.8	106,332	27.2
61	428,510	100	313,144	73.1	115,366	26.9
62	478,068	100	350,270	73.3	127,798	26.7
63	521,938	100	382,228	73.2	139,710	26.8
平成 元	571,361	100	423,926	74.2	147,435	25.8
2	627,798	100	462,971	73.7	164,827	26.3
3	632,110	100	463,073	73.3	169,037	26.7
4	573,964	100	405,520	70.7	168,444	29.3
5	571,142	100	396,582	69.4	174,560	30.6
6	540,007	100	359,567	66.6	180,440	33.4
7	549,630	100	363,519	66.1	186,111	33.9
8	552,261	100	360,476	65.3	191,785	34.7
9	556,007	100	352,325	63.4	203,682	36.6
10	511,977	100	303,397	59.3	208,580	40.7
11	492,139	100	281,293	57.2	210,846	42.8
12	527,209	100	323,193	61.3	204,016	38.7
13	499,684	100	297,393	59.5	202,291	40.5
14	458,442	100	257,891	56.3	200,551	43.7
15	453,694	100	254,727	56.1	198,967	43.9
16	481,029	100	279,858	58.2	201,171	41.8
17	522,905	100	315,413	60.3	207,492	39.7
18	541,169	100	335,007	61.9	206,162	38.1
19	526,558	100	323,273	61.4	203,285	38.6
20	458,309	100	264,507	57.7	193,802	42.3
21	402,433	100	212,941	52.9	189,492	47.1
22 補正後	417,093	100	228,580	54.8	188,513	45.2
23 予 算	432,309	100	242,707	56.1	189,602	43.9

- (備考) 1 本表は国税について作成したものであり、その範囲等については前掲2表備考2参照。
- 2 「直接税」及び「間接税等」の区分は下記による。
- | | |
|---------|---|
| 直 接 税 | 所得税（譲与分を含む）、法人税、法人特別税、法人臨時特別税、会社臨時特別税、地方法人特別税、相続税、地価税、富裕税、再評価税、地租、営業収益税、資本利子税、鉱業税、臨時利得税、旧税及び還付税収入 |
| 間 接 税 等 | 直接税以外のもの |
- 3 地方法人特別税を除いた場合の平成23年度の計数は、以下のとおりである。
- | | | | | | | |
|--------|---------|-----|---------|------|---------|------|
| 23 予 算 | 416,652 | 100 | 227,050 | 54.5 | 189,602 | 45.5 |
|--------|---------|-----|---------|------|---------|------|

4 主要経済指標の見通し

1 国内総生産	21年度 (実績)	22年度 (実績見込み)	23年度 (見通し)	対前年度比増減率					
				22年度		23年度			
	名目・兆円	名目・兆円程度	名目・兆円程度	名目・%程度	実質・%程度	名目・%程度	実質・%程度		
国内総生産	474.0	479.2	483.8	1.1	3.1	1.0	1.5		
民間最終消費支出	280.7	281.7	282.2	0.4	1.5	0.2	0.6		
民間住宅設備	12.9	13.0	13.8	0.7	0.1	5.8	5.4		
民間企業設備	63.7	66.4	69.2	4.2	4.9	4.2	4.2		
民間在庫品増加()内は寄与度	△ 3.6	△ 3.2	△ 2.5	(0.1)	(0.2)	(0.1)	(0.1)		
政府支出	116.3	116.2	115.4	△ 0.1	0.0	△ 0.7	△ 0.9		
政府最終消費支出	94.9	96.6	97.3	1.7	2.1	0.7	0.6		
公的固定資本形成	21.3	19.5	17.9	△ 8.5	△ 9.2	△ 8.2	△ 8.5		
財貨・サービスの輸出	64.2	73.4	77.3	14.3	18.7	5.2	6.2		
(控除)財貨・サービスの輸入	60.2	68.3	71.4	13.5	10.5	4.6	3.5		
内需寄与度				0.8	1.9	0.8	1.0		
民間寄与度				0.9	1.9	1.0	1.2		
公需寄与度				△ 0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.2		
外需寄与度				0.2	1.2	0.2	0.5		
国民所得				339.2	345.5	351.1	1.8	1.6	1.6
雇用者報酬				251.4	253.4	256.1	0.8	1.1	1.1
財産所得	14.1	12.9	13.0	△ 8.4	8.4	1.0	1.0		
企業所得	73.7	79.2	82.0	7.4	7.4	3.5	3.5		

2 労働・雇用	21年度 (実績)	22年度 (実績見込み)	23年度 (見通し)	対前年度比増減率		
				22年度	23年度	
	万人	万人程度	万人程度	△	%程度	%程度
労働力人口	6,608	6,588	6,593	△	0.3	0.1
就業者数	6,265	6,258	6,285	△	0.1	0.4
雇用者数	5,457	5,466	5,503		0.2	0.7
完全失業率	5.2	%程度 5.0	%程度 4.7		—	—

3 生産	21年度 (実績)	22年度 (実績見込み)	23年度 (見通し)
鉱工業生産指数・増減率	△ 8.9	%程度 8.6	%程度 2.5

4 物価	21年度 (実績)	22年度 (実績見込み)	23年度 (見通し)
国内企業物価指数・変化率	△ 5.2	%程度 0.3	%程度 0.4
消費者物価指数・変化率	△ 1.7	△ 0.6	0.0
GDPデフレーター・変化率	△ 1.3	△ 2.0	△ 0.5

(注) 消費者物価指数は総合であり、平成22年度の実績見込みには高校実質無償化の影響(寄与度△0.5%程度)が含まれる。

5 国際収支	21年度 (実績)	22年度 (実績見込み)	23年度 (見通し)	対前年度比増減率	
				22年度	23年度
	兆円	兆円程度	兆円程度	%程度	%程度
貿易・サービス収支	4.8	6.6	7.5	—	—
貿易収支	6.6	7.8	8.4	—	—
輸出	55.6	64.3	68.3	15.8	6.2
輸入	49.0	56.5	59.9	15.4	6.1
経常収支	15.8	16.4	17.6		
経常収支対名目GDP比	3.3	%程度 3.4	%程度 3.6		

(備考) 上記の諸計数は、現在考えられる内外環境を前提とし、「平成23年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」(平成23年1月24日閣議決定)において表明されている経済財政運営の下で想定された平成23年度の経済の姿を示すものであり、我が国経済は民間活動がその主体をなすものであること、また、特に国際環境の変化には予見しがたい要素が多いことにかんがみ、これらの数字はある程度幅を持って考えられるべきものである。

[参考資料]

1 租税及び印紙収入（一般会計分）決算額の推移

税 目		年 度		
		平 成 19	平 成 20	平 成 21
所 得 税	源 泉 分	129,285	121,612	104,995
	申 告 分	31,515	28,239	24,144
	計	160,800	149,851	129,139
法 人 税		147,444	100,106	63,564
相 続 税		15,026	14,549	13,498
消 費 税		102,719	99,689	98,075
酒 税		15,242	14,614	14,168
た ば こ 税		9,253	8,509	8,224
揮 発 油 税		21,105	18,894	27,152
石 油 ガ ス 税		137	130	123
航 空 機 燃 料 税		880	836	793
石 油 石 炭 税		5,129	5,110	4,868
電 源 開 発 促 進 税		3,522	3,405	3,293
自 動 車 重 量 税		7,399	7,170	6,351
関 税		9,410	8,831	7,319
と ん 税		96	94	89
印 紙 収 入		12,018	10,884	10,676
そ の 他		3	1	1
計		510,182	442,673	387,331

2 所得税納税人員の推移

所得者別	年次	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23
		(実績)	(実績)	(見込)	(予算)
給与所得者		4,212 万人	4,249 万人	4,255 万人	4,370 万人
申告所得者		752	718	713	729
	事業	166	147	140	144
	その他	586	570	573	585

(備考) 1 給与所得者……「民間給与実態統計調査」(国税庁)及び源泉所得税の課税実績から推計した。
2 申告所得者……「申告所得税標本調査」(国税庁)等による。

3 基準割引率および基準貸付利率の推移

実 施 年 月 日	基準割引率および基準貸付利率
	%
平成 2 年 3 月 20 日	5.25
8 月 30 日	6.00
3 年 7 月 1 日	5.50
11 月 14 日	5.00
12 月 30 日	4.50
4 年 4 月 1 日	3.75
7 月 27 日	3.25
5 年 2 月 4 日	2.50
9 月 21 日	1.75
7 年 4 月 14 日	1.00
9 月 8 日	0.50
13 年 2 月 13 日	0.35
3 月 1 日	0.25
9 月 19 日	0.10
18 年 7 月 14 日	0.40
19 年 2 月 21 日	0.75
20 年 10 月 31 日	0.50
12 月 19 日	0.30

(備考) 上記の計数のうち、平成 13 年 1 月 4 日以前は「商業手形割引率ならびに国債、特に指定する債券または商業手形に準ずる手形を担保とする貸付利率」であり、それ以降は「基準割引率および基準貸付利率」である。

4 法人数の状況

(1) 資本金階級別法人数の推移

資本金階級 年度分		1,000万円未満	1億円未満	10億円未満	10億円以上	合計
		社	社	社	社	社
平成	18	1,449,591	1,102,245	33,301	7,210	2,592,347
	19	1,453,189	1,101,107	32,519	7,399	2,594,214
	20	1,500,226	1,063,472	32,255	7,412	2,603,365

(備考) 「会社標本調査」(国税庁)による。

(2) 利益計上法人数と欠損法人数

区分 年度分		法人数			欠損法人割合 (A)／(B)
		利益計上法人	欠損法人(A)	合計(B)	
平成	18	871,241	1,715,343	2,586,584	66.3
	19	852,627	1,735,457	2,588,084	67.1
	20	740,533	1,856,575	2,597,108	71.5

(備考) 「会社標本調査」(国税庁)による。

(注) 上記(1)及び(2)表中の計数に関し、連結申告を行う法人については、「(1) 資本金階級別法人数の推移」では連結親法人、連結子法人の別に集計され、「(2) 利益計上法人数と欠損法人数」では連結親法人、連結子法人の双方を含む法人1グループを1法人とみなして集計されるため、両表の法人数の合計は一致しない。

5 企業収益の予測状況

調 査 名	業 種 別	経常利益の対前年度比増減率		
		平成 20 年度 (実 績)	平成 21 年度 (実 績)	平成 22 年度 (予 測)
法人企業景気予測調査 (内閣府・財務省)	全規模・全産業	△ 29.9	△ 14.1	29.4
	製 造 業	△ 58.1	△ 7.1	55.2
	非 製 造 業	△ 8.1	△ 16.6	19.3
全国企業短期経済観測調査 (日 本 銀 行)	全規模・全産業	△ 42.5	△ 4.3	28.2
	製 造 業	△ 59.6	△ 4.7	59.1
	非 製 造 業	△ 27.9	△ 4.0	13.3

(備考) 平成 22 年度 (予測) の増減率は、法人企業景気予測調査については平成 22 年 10 - 12 月期調査結果、全国企業短期経済観測調査については平成 22 年 12 月調査結果による。また、法人企業景気予測調査における各年度 (実績) の増減率は、それぞれ直近の調査により得られた計数を基に算出している。

6 相続税・贈与税の納税人員等の推移

区 分		年 次	平 成 20	平 成 21	平 成 22	平 成 23
			(実 績)	(実 績 推 計)	(見 込)	(予 算)
相 続 税	課 税 件 数	千件	48	48	49	49
	納 税 人 員	千人	120	120	122	122
贈 与 税	納 税 人 員	千人	243	236	229	229

(備考) 「国税庁統計年報書」による。

(注) 「平成 23 (予算)」の計数は、現行法によるものである。